

G2セントライト記念

<最終見解>

後に G1 を勝つ馬が当レースでは続々と敗れているように、主流の根幹距離 G1 血統とは方向性が異なる血統馬が能力を開花させるレース。

本命はシャザーン。

母はクイーンズリング。

2016 年のエリザベス女王杯勝ち馬。

400m で割れない 1400m 重賞を 2 勝。

1800m 重賞も 2200m 重賞も優勝。

有馬記念でも 2 着。

なお、クイーンズリングは 400m で割れる根幹距離重賞は全敗。非根幹距離という概念を象徴する名馬でした。

父は引き出し型のロードカナロア。

母馬の個性を引き出しやすいタイプ。

シャザーンも母馬の個性を強く継いでいて、

当舞台でこそ非凡な才能を発揮することでしょう。

相手妙味にセブンマジシャン。

近親は非根幹距離の名馬クロノジェネシス。